



香宗地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日
香南市農林水産課

香宗地区の人と農地の課題と背景

2

■ 課題

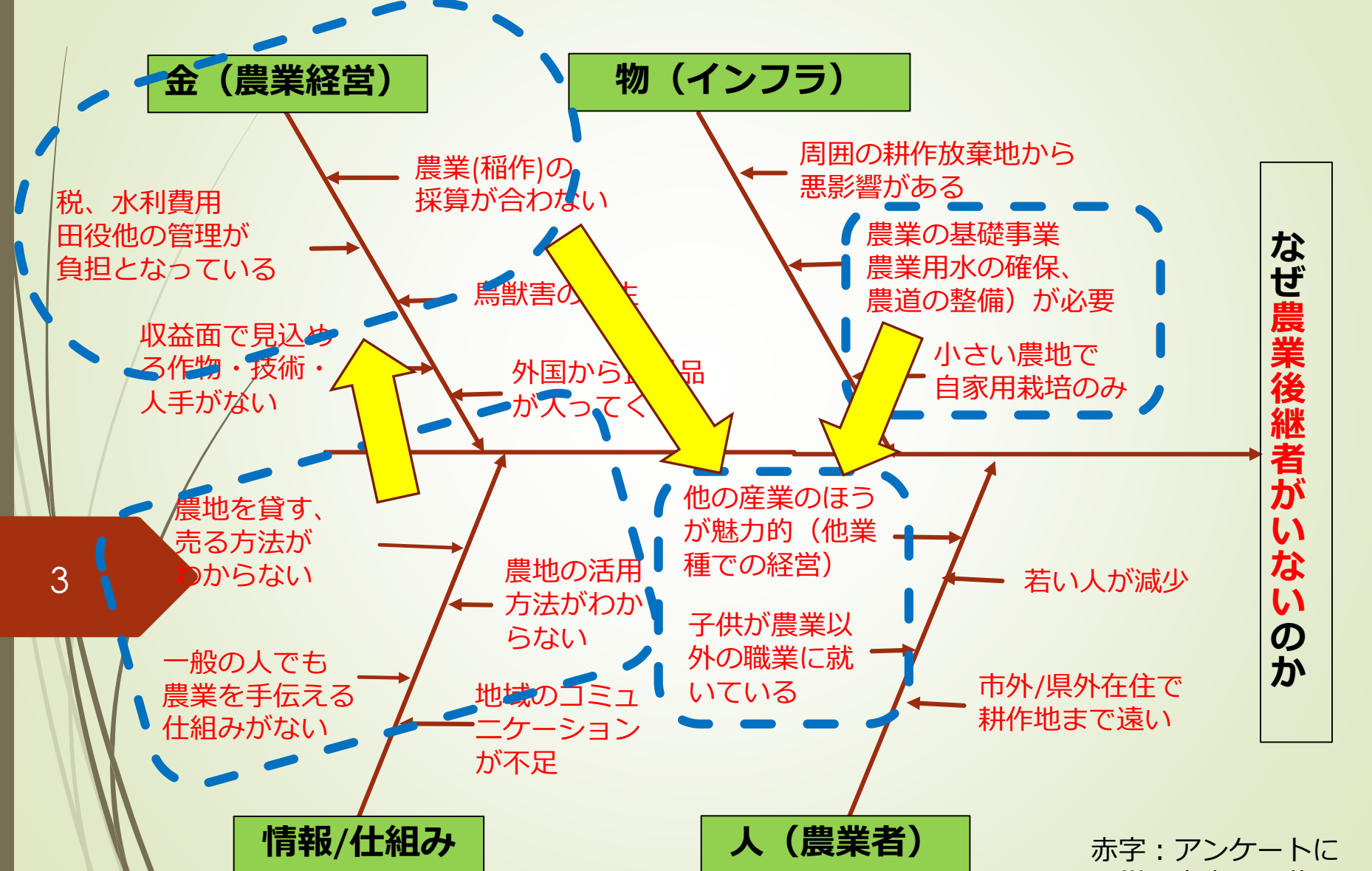
香宗地区は、農業への魅力がないことや、農地の有効な活用方法が不明である状況もあり、農業の後継者及び潜在的な後継者が居ないことが課題です。

■ 課題とした理由/背景

・ 営農アンケート及び地区会合のグループワーク（12/7）より：
 農業者の高齢化が深刻であり、後継者が不足していることを確認した。更に、米価の低迷、鳥獣による被害、農地維持コスト（税、田役、水利、管理等）のため、農業自体に魅力がなくなった点も挙げられた。また、後継しようにも、農地は所有しているがその活用方法がわからないとの所有者も存在する。

補足) 地区の課題の要因

- 結果に至る要因を人、モノ、カネ、情報の括りに分類する
- 原因（矢印の元）に対して施策を検討する



課題対応方針/施策

4

■方針（基本的な考え方）

・香宗地区は、後継者の不足が課題であり、農業経営向上、情報取得（特に新規就農のハードルを下げる支援）の強化を通じて、現状の課題を改善し地区の農地の維持につなげる。

■施策（取組み）

方針	施策 (なにを)	目標 (どこまで)	担当（誰が）			期限 (いつ)
			地区 農業者	行政 農業委員会	農業公社 振興C,JA、他	
後継者の確保を通じて農地の維持	・地区の農業インフラ改善促進	・水路/道路、圃場整備に向けた準備/実施計画検討	◎	建設課 ◎		R3.上期
	・事例を通じた低コスト、高収益農業のノウハウの理解促進	・農業経営の向上にむけた研修会開催依頼/受講	◎		農業振興C JA、他 ◎	R3.通年
	・HP等を通じた情報を受ける仕組みづくり（市のHP経由で農業経営/農地情報が得られる仕組み）	・農業採算性の向上の支援となる補助金情報の取得（特に新規就農）	◎	農林水産課 ◎		R3.上期
		・農地の集約/賃貸の方法の情報取得	○	農業委員会 農林水産課 ◎	農業公社 ○	R3.上期

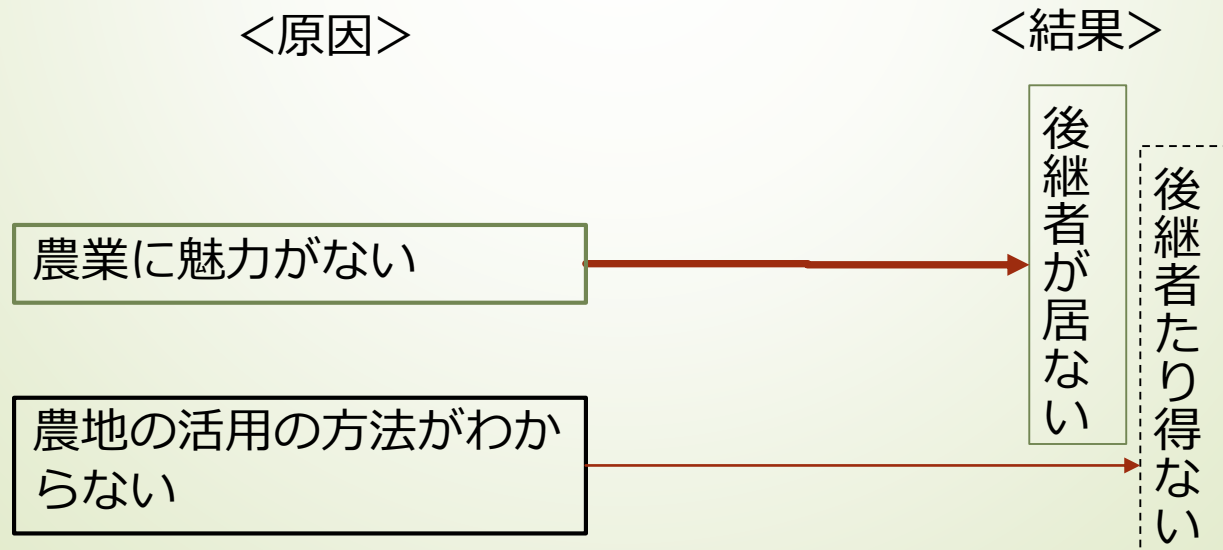
＜参考資料＞

- ▶ 以下は、プラン原案に至るまでの議論の元となった資料です。

■ 令和2年12月7日の香宗地区会合でのグループワークを通じて下記が香宗地区の課題であることを確認した。（7～8ページ参照）

- 中ノ村：農業に魅力がない。後継者が居ない。
農地の活用方法がわからない。
- 土居：後継者が居ない。

■ これらを原因/結果の形に表現すると次のイメージとなる。



補足) 12月7日の地区会合での課題出し

7

<人・農地プランの実質化>

B

グループの考える地区の課題

■課題

(中ノ村) 地区は 農地の使い道

課題です。

■課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

- 農業従事者 耕作放棄地の発生(技術・人手), 収入
- 農業非従事者 貸し付け 地味賃金の意識の低さ, 賃金の高台化,
- 地味賃金の低さ. 一人(自分の家)位では採れない? どの程度か. 周囲の耕作放棄地の影響を受ける.

○後継者不足
○貸す方法がわからない

農地の使い道に困ってる。(活用方法)

貸借契約をしているが地主と借主の管理に対する考え方に相違がある。

情報不足

農地の管理をしているが周囲の耕作放棄地が影響を受けた

<人・農地プランの実質化>

令和2年 12月 7日

A

グループの考える地区の人と農地の課題

■課題

(中ノ村) 地区は 農業に魅力がない、後継者がいない課題です。

■課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

- ・米価の単価が安いため、もうけない!!
- ・鳥獣害(タヌキ)
- ・農地管理費用が掛る(固定資産, 田役, 管理費等....) 水利費
- 負の財産となっている
→ 遊休農地になる

<人・農地プランの実質化>

C 土居 グループの考える地区の人と農地の課題



令和2年 12月 7日

■課題

(土居)地区は 後継者がいないこと が
課題です。

■課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

- ・ 60歳未満の農業者が7人しかいない。
- ・ 北らいすの後継者の経営方針をどうするか
分からない。現在3品目作っているが、~~代替作物は~~
- ・ 土地持ち非農家の割合が高い。分からな...

→もともと北らいすが
受け持っている。

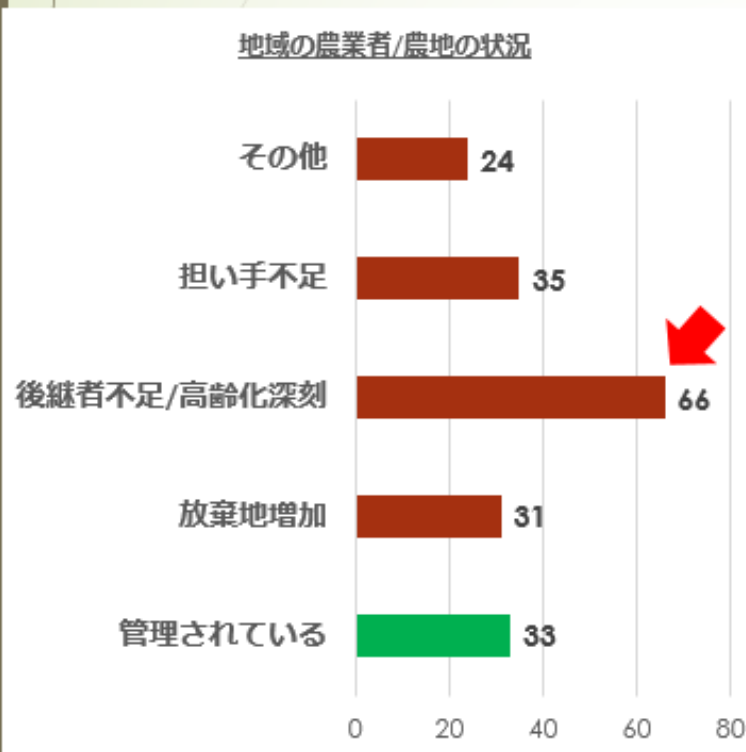


アンケート集計 (7)

地域の状況認識

13 Q6. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。
- 市外に在住で現状の農地がどのようなものか分からないとのコメントもあり。



設問への回答数 : 189

コメント :

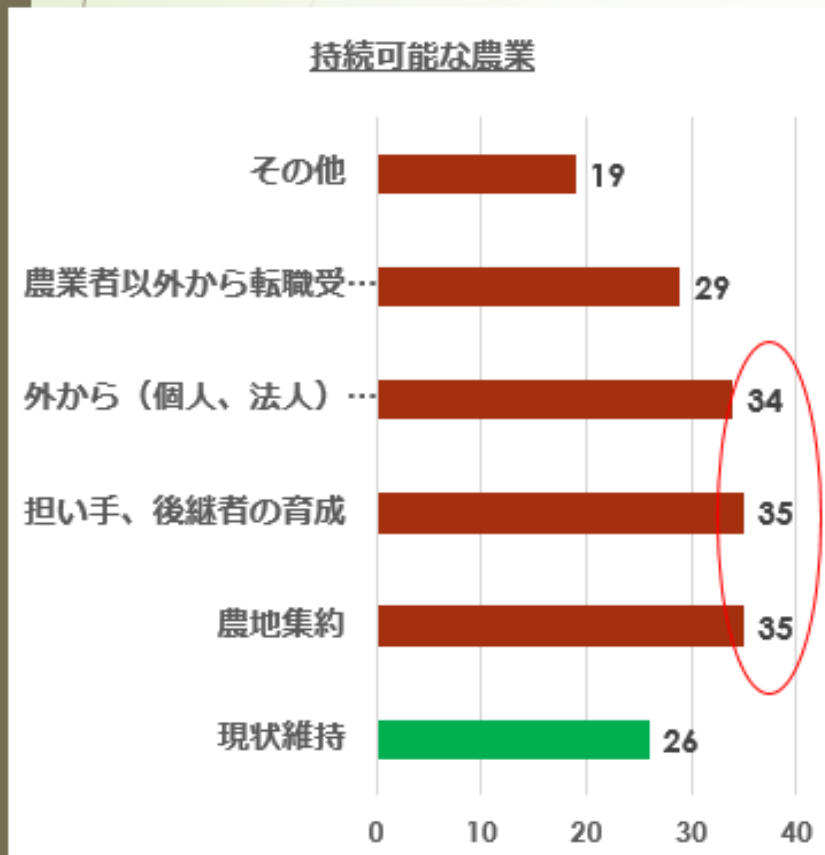
- ・よくわからないが、管理確保されていると思われる。
- ・いのししやシカなどの害獣が増えすぎ、(今はハンターも居ない) 農地や作物が荒らされている。最近特にひどい。根本的には個体数を減らすしかないが、何か策はないものだろうか。
- ・みかんを4本植えている小さな畑。
- ・現在自家用の野菜を栽培している。
- ・地球規模で気候変化が激しい、災害増加中。
- ・地元から離れた場に住んでいますので、どうしたらよいのか分かりません。現在は大半は親戚、一部は南国市の方に耕作していただいています。将来はどうなっていくのか未定です。
- ・農業の若い担い手が年々減少し、農地以外の活用に方向転換の必要を感じる。
- ・田は貸しているが、少しばかりの竹林と畑に困っています。隣の迷惑になっている為。
- ・担い手がいつ撤退するかわからない状況。
- ・付き合いがないのでわからない。
- ・香南市外に住んでいるので、詳細を知らない。
- ・わからない。
- ・分かりません。
- ・この先の方向性が現状では見えません。
- ・あまりわからない。
- ・わからない。
- ・不明。

アンケート集計 (8)

持続可能な農業のために

Q6. あなたの地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 担い手の育成、農地集約、外から労働の確保を通じて持続できれば、との意見が多い。



設問への回答数：178

コメント：

- ・ 業用水の確保、農道の整備など**農業の基礎事業**の実施
- ・ 耕作放棄地にならないように、**農業継続**だけに目を向けるのではなく、**他業種での経営策**を考える必要性が有りはしないかと思う。
- ・ **地域の活性化、住民同士のコミュニケーションアップ、行政とのタイアップ**など、意識の向上を図りたい。自分の反省も含めて。
- ・ 農業者でも一般人でも気軽に手伝える仕組みを考える
- ・ 外国からの食料品輸入を禁止する。
- ・ 農業はすそ野の広い産業である。**米価を上げれば**地域コミュニティ、地域産業も維持できる。
- ・ 農業従事者の優遇。政策の抜本改正、小中学校からの**学校での農業教育**が必要。工業・商業の偏重の是正。
- ・ 父が作れなくなり、とりあえず今年**は田んぼをやってみようか**と思いますが、ムリだった場合、来年以降貸したりするときの**相談窓口が農林課**でよろしいですか
- ・ 分からない。/わからない。/分かりません
- ・ 不明。
- ・ 教えてください。

補足) 地区の課題の要因

■ 結果に至る要因を人、モノ、カネ、情報の括りに分類

